



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2024.9

vol.

136

## むつみ

## 当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

## 目次

麻しん(はしか)について……………1  
当院の食事(病院給食)について……………2-3

お知らせ……………4

## 麻しん(はしか)について

内科医師 香川 真由子

2024年になってから麻しん(はしか)に関するニュースを耳にすることが増えました。海外への渡航機会の増加や海外からの旅行客増加にともない、小規模な感染報告が相次いでいます。今後も感染者数が増える可能性があります。注意が必要な感染症です。

## 麻しんとは

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その**感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症**します。

## 発生状況

近年では2007-2008年に若者を中心に大きな流行が見られました。その際若年層を中心に2回目の麻しんワクチン接種が推奨され、2009年以降患者数は激減しました。

## 症状

感染すると**約10日後**に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。

2~3日熱が続いた後、39℃以上の**高熱と発疹**が出現します。死亡する割合は先進国であっても1,000人に1人とされています。

また麻しんウイルスに感染後、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる脳の炎症を起こすことがあります。

## 予防

麻しんは感染力が強く空気感染もするので、手洗い、マスクなど通常の感染対策では予防できません。麻しんの**予防接種**が最も有効な予防法といえます。麻しん含有ワクチンを接種することによって、**95%程度**の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができますとされています。2回の接種を受けることで確実に免疫をつけることができます。現在は1歳と小学校入学前の2回ワクチン接種が行われていますが、ワクチン接種が行われていなかった年代、1回接種の年代の方もおられます。

## ① ワクチン接種受けたことがない

(1972年以前に生まれた方)

今まで麻しんにかかったことが確実である、または検査で

麻しんの感染が確認された場合は免疫を持っていると考えられます。予防接種を追加で受ける必要はありません。明らかでない場合はかかりつけの医師にご相談ください。抗体の検査を受け、必要であれば2回のワクチン接種を行います。

## ② ワクチン接種が1回

(1972-2000年に生まれた方)

母子手帳などで確認できるワクチン接種が1回の場合には免疫が十分ではない可能性があるため追加のワクチン接種が必要となることがあります。

## ③ ワクチン接種が2回

(2000年以降に生まれた方)

2回接種されていれば基本的には問題ありません。接種完了していない場合はワクチンの接種を推奨します。

## 注意すべき点

**妊娠中**は、特に注意が必要です。妊婦がはしかに感染すると、重症化したり、流産や早産を引き起こすことがあります。妊娠中はワクチンの接種が原則できないため、妊娠を希望する人はあらかじめ接種を受けることが重要です。

医療従事者、学校の先生や保育士など子どもと接する機会の多い人や海外に出かける人なども注意が必要です。ワクチンの接種歴をよく確認しましょう。

また**海外から帰国後2週間程度は麻しん発症の可能性**があるため、健康状態を観察しましょう。

## 麻しんかなと思ったら

麻しんを疑う症状がある場合は公共交通機関の利用を控え、医療機関に事前に連絡しましょう。感染力が非常に強いいため隔離が必要です。麻しんの最新発生報告数は、定期的に国立感染症研究所ウェブサイトに掲載されています。居住地近くで感染が認められているか確認することができます。

## おわりに

残念ながら麻しんに対して有効な治療法は現在ありません。感染を防ぐためにワクチン2回接種でしっかりと予防することが大切です。

## 当院の検査・接種料(自費)

・抗体検査料……………3,900円

・ワクチン接種料…8,880円(麻しん風しん2種混合)